



茨城県

茨城県職員等採用 高校卒業程度試験 説明会

令和4年7月10日
茨城県人事委員会事務局



今回説明する内容

1. 県の業務内容
2. 仕事の環境
3. 採用試験



1. 県の業務内容

県の業務内容

① 安全安心な暮らしを支える

生活困窮者支援、児童虐待防止
高齢者・子育て支援施策
感染症対策、県立病院運営 etc…

② 生活基盤を整える

道路・上下水道・農場等のインフラ整備
災害対策、公共交通の確保
産業振興（第1～3次産業）
環境問題への取組 etc…

③ より豊かな暮らしへ

新産業（AI等）の育成
茨城の魅力UP、観光客誘致
県産品の販売促進（国内・海外）
茨城空港の路線誘致
教育の充実（英語、プログラミング） etc…

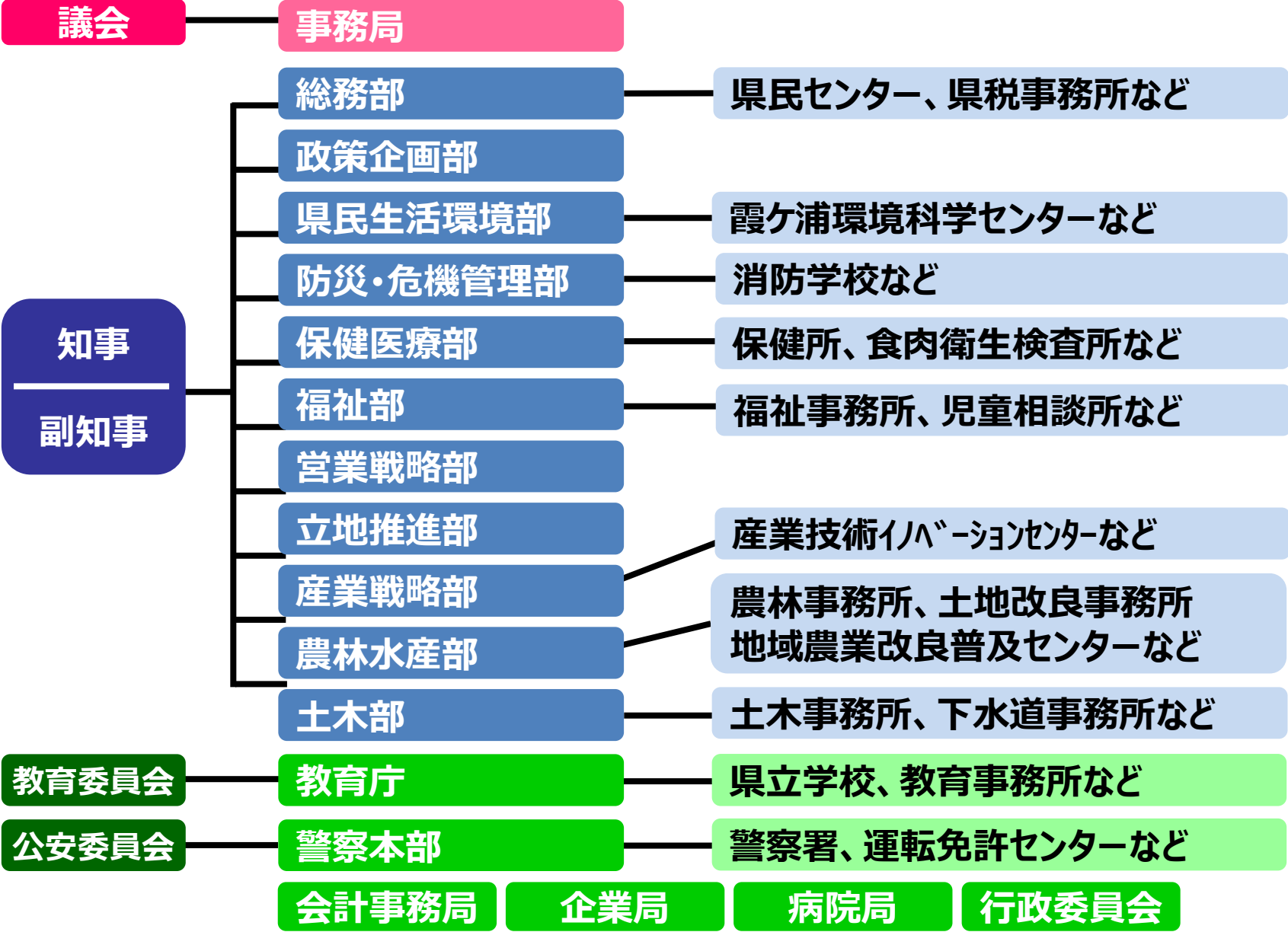


県の業務内容（職種別）

職種	特色	主な業務内容	主な勤務課所
事務 (知事部局等)	県行政のあらゆる分野で様々な仕事に携わることができる。	施策の企画・推進 条例・規則の制定 申請に対する許認可 用地買収 税金徴収 イベント運営 など	知事部局や教育委員会等の本庁又は出先機関
事務 (警察本部)	警察官と一緒に仕事をし、警察に関わるすべての事務に携わる。	施策の企画・推進 予算の編成・執行 申請に対する許認可 鑑識、少年サポート システム開発 など	警察本部 警察署（27カ所） ※知事部局等との人事交流はなし
様々な技術職	専門知識を生かして特定の分野で仕事の経験を積んでいく。	工事設計・施工管理(土木等) 技術普及・現地指導や研究 (農業、畜産、林業、水産、獣医師等) 児童福祉(福祉、心理) ※一般行政事務の経験も積む	知事部局等の本庁又は出先機関



県の組織（令和4年度）



加速する人口減少や超高齢社会への対応、新たな感染症や大規模災害への備え、デジタル化の進展など、将来の予測が困難な「非連続の時代」を迎えている。

前例踏襲や横並びの施策ではなく
新たな施策に積極果敢に挑戦する必要性

茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～ (第2次計画：令和4年3月策定)

- 基本理念は『**活力があり、県民が日本一幸せな県**』
- 2050年頃の茨城県の姿と、その実現に向けた施策
- 第2次計画では「**いばらき幸福度指数**」を導入

今まで抽象的だった
幸福を「見える化」



県民一人ひとりの幸せが実現できる
環境の状況を数値で把握

全国順位を算出



政策課題の明確化、本県の豊かさ・
暮らしやすさをわかりやすく発信



茨城県総合計画：4つの「チャレンジ」

I 新しい豊かさ

力強い産業の創出と
ゆとりある暮らしを育む
PICK UP! → **カーボンニュートラル社会**



II 新しい安心安全

医療・福祉・防災など
県民の命を守る生活基盤を築く
PICK UP! → **人生百年時代を見据えた健康づくり**



III 新しい人財育成

未来をつくる人財を育て、
日本一子を産み育てやすい県へ
PICK UP! → **活力と魅力ある学校づくり**



IV 新しい夢・希望

県内外から選ばれる魅力ある茨城づくり
PICK UP! → **茨城の魅力を世界へ**





2. 仕事の環境



県庁の働き方改革を推進

① 長時間労働の削減

時間外勤務の縮減、年次休暇の取得について**目標を定めて推進中**

職員 1 人 1 月当たりの 時間外勤務時期間	H28	H29	H30	R1	R2	目標
	11.8	11.3	11.3	12.2	11.0	10.5時間

年次休暇の取得日数 (毎年20日付与)	H28	H29	H30	R1	R2	目標
	10.7	11.6	12.1	11.7	11.5	14日/年

② 柔軟な働き方の推進

個々のライフスタイルに合わせた働き方が実現できるよう、**時差出勤**や**テレワーク**を導入

③ 事務の効率化

- ・会議・会合のルール化
- ・ペーパーレス

④ ICTの積極的な活用

- ・電子決裁の推進
- ・RPA、AI（音声認識、画像認識）の活用

[事例紹介] 時差出勤制度

- 自分の生活に合わせて、以下の13パターンから勤務時間を選択。
- 育児や通勤ラッシュ回避など、理由は問わずに利用可。

区分	勤務時間
早出①	7:00~15:45
早出②	7:30~16:15
早出③	7:45~16:30
早出④	8:00~16:45
早出⑤	8:15~17:00
通常	8:30~17:15

区分	勤務時間
遅出①	8:45 ~ 17:30
遅出②	9:00 ~ 17:45
遅出③	9:15 ~ 18:00
遅出④	9:30 ~ 18:15
遅出⑤	10:00 ~ 18:45
遅出⑥	10:30 ~ 19:15
遅出⑦	11:00 ~ 19:45
遅出⑧	13:00 ~ 21:45

- ✓ 全国トップクラスの柔軟な制度で、
 - ✓ 使いやすさ抜群！
- 職員の約4割が利用中！

【事例紹介】テレワーク

- ✓ 在宅勤務、モバイルワークなど、場所にとらわれない柔軟な働き方
- ✓ 茨城県は平成30年度から本格導入

区分	内容
在宅勤務	自宅等で個人のP Cを使用 (職場のP Cをリモート操作)
サテライト オフィス	各地域の県民センター等の出先機関にあるP C等を利用
モバイル ワーク	出張中などに、薄型パソコン、タブレット等を活用



- ✓ 通勤時間なし！時間を有効活用できる。

[事例紹介] ICTの積極的な活用



2020年に専門情報誌が発表した、都道府県の「電子化推進度ランキング」で、本県が総合1位の評価を獲得

- ✓ **電子決裁の推進**
ほぼ100%を達成
- ✓ **AI（人工知能）言語分析，音声認識，画像認識など**
会議録の作成はAIに任せる
- ✓ **RPA（Robotic Process Automation）**
単純な入力作業などはロボットで自動化
（例：コロナ協力支援金の書類確認作業）



配置換え

● 採用時の配属先

最終合格後に意向調査（県庁・出先のどちらもあり得る）

● 異動に関する希望調査

年1回実施（業務内容、勤務地等の本人の希望に配慮）

● 配置換のサイクル

3～5年が目安（入庁後10年程度は様々な仕事を経験）

熱意ある職員を希望業務に配置する公募制度もあり！

**新型コロナ対策、職員の働き方改革、
県北地域振興など、例年40業務以上！**

① **業務提示型公募**

② **職員提案型公募**

③ **研修・派遣型公募**

県を離れて貴重な経験を積める！

【派遣例】カルビー、イオンリテール、JTB、JETRO、JICA、常陽銀行海外駐在事務所、国各省庁、大学 など



給与・賞与

● 初任給

試験区分	給料月額
大学卒業程度	200,022円
高校卒業程度	164,194円

6%の地域手当を含んだ額。
大学/高校卒業後の学歴や職歴がある場合には、一定額を加算

● 各種手当

通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等を支給

● 期末手当・勤勉手当（ボーナス）

年2回（6月と12月）

● 定期昇給

勤務成績に応じて、原則年1回の昇給あり

※ 民間給与の支給状況等を踏まえ、人事委員会勧告による給与改定があります。



充実した子育て支援制度

● 育児休業（男女対象、無給（※））

- ・ 子が**3歳**に達するまで { ※子が1歳に達するまでは地方公務員共済組合から育児休業手当金が支給されます。 }
- ・ 男性の育児休業率も上昇中

H27	H28	H29	H30	H31	R2
8.8%	8.0%	7.0%	10.4%	19.7%	45.1%

● 育児部分休業（男女対象、減額）

子の送迎等のため朝夕併せて2時間まで勤務時間を短縮

● 男性職員の育児参加休暇（男性対象、有給）

産前8週～産後8週までに5日 → **ほぼ100%**達成


● 家族看護休暇（男女対象、有給）

義務教育を終了する前の子、配偶者、父母の看護のため 年間5日
（義務教育終了前の子が2人以上の場合は年間10日）



入庁後のキャリア形成

勤務成績に基づき、上位の職に昇任

主な役職名	主な年代	任される業務・役割	割合
主事・技師	20代	各担当業務を持つ（1年目から）	20%
主任	30代前半～	担当業務が高度化・複雑化	15%
係長	30代後半～		30%
課長補佐	40代前半～	グループの長として、部下と上司の調整役を担う	30%
課長	40代後半～	課を統率・課の課題の判断・指示 部下の育成・良好な職場環境を形成	4%
次長・部長	50代～	部局の重要課題の判断、方針策定	1%



入庁後の経歴例（事務職の場合）

年度	配属先	主な業務内容	役職
H14～15	企画部統計課	統計普及啓発	主事
H16～18	鹿行地方総合事務所	青少年健全育成、男女共同参画推進、消費生活センター、旅券発給	主事
H19～21	保健福祉部厚生総務課	医療法の施行（病院許可、医療法人設立認可等）	主事 主任
H22～25	生活環境部環境政策課 地球温暖化対策室	地球温暖化防止、省エネ対策	主任
H26	企画部企画課 交通対策室	常磐線整備促進 鉄道整備補助	主任
H27～29	企画部企画室	企画部内調整、議会関係調整 国等への提案要望	係長
H30～R1	政策企画部地域振興課	古民家活用 霞ヶ浦環境創造事業推進計画策定	係長
R2～R4	人事委員会事務局	職員採用試験の実施 昇任選考、受験者確保対策	係長 主査



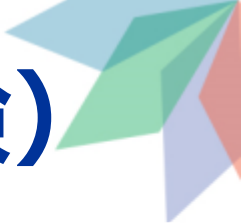
3. 採用試験



県職員採用試験の概要（令和4年度）

試験区分		大学卒業程度	高校卒業程度
受験資格 (採用時年齢)		22～29歳 (薬剤師：24～34歳)	18～21歳
職種	事務職	事務（知事部局等）、 事務（警察本部）	事務（知事部局等）、 事務（警察本部）、 小中学校事務
	技術職	電気、機械、土木、建築、 化学、薬剤師、管理栄養士、 農業、農業土木、畜産、林業、 水産、福祉、心理	土木、農業

- ※ 一部の職種を除き、大学等を卒業していなくても受験可能です。
- ※ 一部の職種では、資格・免許の取得（見込を含む。）を必要とします。
- ※ 年度によって募集しない職種もあります。
- ※ 社会人経験者採用選考や障害者を対象とした採用選考も実施しています。



試験方法（令和4年度高卒程度試験）

試験科目		内容		配点
第1次試験	教養試験	択一式 (2時間)	50問出題全問必須解答	【事務】 教養300点
	専門試験	択一式 (2時間)	40問出題全問解答 ※事務以外のみ実施	【事務以外】 教養150点 専門150点
第2次試験	論文試験 (1次試験日に実施)	500～800字 (60分)	【R3課題】周囲を巻き込んで何かを成し遂げた経験とそこから学んだこと	50点
	口述試験	個別面接	1回実施	350点
	適性検査	2種類		—

※ 問題例をホームページに掲載しています。
<http://www.pref.ibaraki.jp/jinjiiin/saiyojyoho.html>



試験スケジュール（令和4年度）

試験区分	試験案内HP掲載	申込受付	第1次試験	第2次試験	最終合格発表
大学卒業程度	4月27日	4月27日 ～ 5月18日	6月19日	7月8日 ～ 8月23日 ※うち2日	8月30日
高校卒業程度	4月27日	7月1日 ～ 8月19日	9月25日	10月12日 ～ 10月31日 ※うち2日	11月8日

※ 申込はインターネットのみ（PC又はスマートフォンから）



令和3年度試験実施状況（高卒程度）

		採用予定 人員	申込者	第1次試験		第2次試験		競争率
				受験者	合格者	受験者	合格者	
		名程度	人	人	人	人	人	倍
高校卒業程度	事務(知事部局等)	32	229	197	99	86	40	4.9
	事務(警察本部)	8	65	51	27	22	9	5.7
	土木	1	3	3	3	2	2	1.5
	農業	1	7	7	3	3	1	7.0
	事務（小中学校）	26	147	128	77	75	33	3.9

県職員に求められるもの・・・



目指す姿 = 「挑戦する県庁」への変革

挑戦	時代に応じた県民ニーズを的確に捉え、失敗を恐れず果敢に挑戦する職員
スピード感	未来を展望した政策展開につながるよう、常にスピード感を持ち、行政課題に対応する職員
幅広い視野と発想力	固定観念にとらわれない新たな発想を持ち、将来の予測が困難な「非連続の時代」に対応する職員

※第2次茨城県総合計画 第4部より



お聴きいただきありがとうございました。

もっと詳しい情報を知りたい方は・・・

- 茨城県ホームページ「採用試験等情報」

で検索

最新の試験情報や、先輩職員の業務紹介等を掲載

- Twitterをフォロー

アカウント名

試験情報や最新のお知らせをつぶやいています



- お問い合わせ先 saiyoushiken@pref.ibaraki.lg.jp